

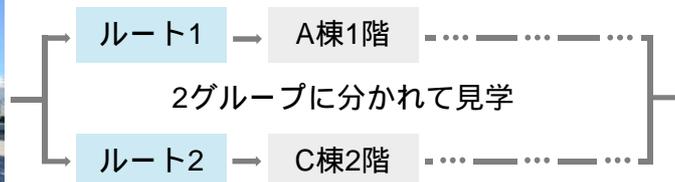


光が丘地区内の子どもに関する公共施設の多くが、建て替え等の対策を検討する時期を迎えている中で、閉校予定の青葉小学校を「どのような場所にしていきたいか」、地域の皆さんとともに考えることを目的に、全4回の市民対話ワークショップを開催しています。

12月19日(日)に第2回ワークショップを開催しました！

第2回ワークショップは「施設を見て、既存ストックを使ってやりたいことを考えよう！」をテーマに行いました。

施設(青葉小学校)見学



実際、働いている「学校の先生」や施設の維持・管理をしている「施設管理者」にお話を聞きながら見学し、施設の特徴や課題など、「気づいたこと」を施設見学持参資料にメモをとっていただきました。(グループワークで使用)



療育センター陽光園の施設概要説明

今回の跡地活用において、療育センター陽光園の再整備が利活用の一つとして考えられています。

陽光園の奈良担当課長に説明してもらいました！

陽光園とは？

障害のある幼児に療育を行うことや子どもから大人までの発達障害を中心とした相談等を通じて、障害のある方の支援や福祉の向上を図る施設です。

施設再整備

療育ニーズの増加・多様化

既存施設の活用、他施設との複合化等

地域施設との連携・地域との関わり

保育所・学校や民間団体との連携等

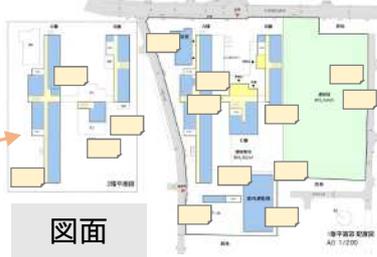


## グループワーク

### ワーク1：青葉小学校を見て、気づいたことや感じたことを共有する

施設見学をして「気づいたこと」や「感じたこと」などを付せんに書き出し、図面に貼りつけながらグループ内で共有していただきました。

「気づいたこと」  
「感じたこと」



図面

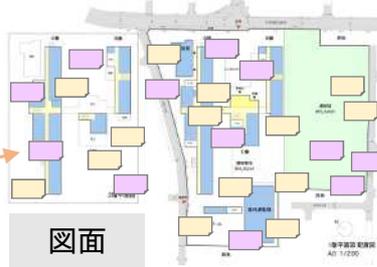


学生が模型を作成してくれました！

### ワーク2：既存ストックを使ってやりたいことなどを考える

ワーク1をふまえ、付せんに「やってみたいこと」や「守っていききたいこと」を書き出し、図面に貼りつけながら重要なキーワードをグループ内で検討。その後全体で発表していただきました。

「やってみたいこと」  
「守っていききたいこと」



図面



## 第2回目ワークの結果

### A グループ

### 💡 キーワード

気づいたこと

やってみたいこと



- ・ ランチルーム、図書室、資料室3つのつながり
- ・ 思い出の教室
- ・ 子どもの見守り、花見

図書室は日当たり良好だが入室経路が階段しかない

理科室前～ランチルーム～テラスへつながる広い空間！

テラスでのおしゃべり、気軽によれるお茶のみ場に！

日当たりが良いランチルームが素敵

資料室は光が丘博物館として地域に継承していく

家庭科室にガスコンロが多く設置されており、避難所開設時に利用出来る

避難所としていざというときに変換出来る教室

校庭の桜の木の下の子ども達を見守るベンチ

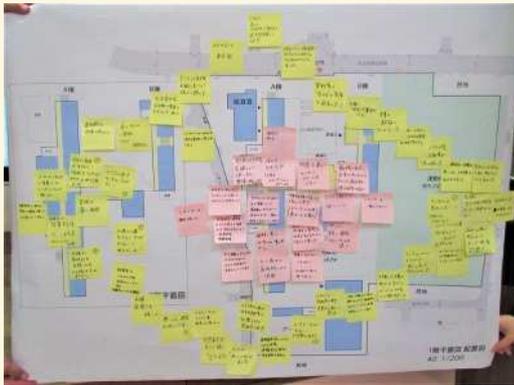


前回の「つながり」というキーワードを上手に落としこんでくれたと思います。いくつかの教室を「つなぐ」というアイデアがありましたが、具体的にどれとどれをつなげるか、どうつなげるか、は個々人で発想が違ったりするため、次回はそれらの点について掘り下げることができるとよいと思います。



讃岐先生

## B グループ



### 💡 キーワード

- ・子ども食堂、学習室/時間帯別
- ・みんなが集まる場所/イベント開催
- ・くすの木、卒業制作、ピオトープを残す

生活資料室にある物は貴重なものなので残したい

テラスのあるランチルームがすごい！

くすの木ライトアップ12月はイルミネーションイベント化

ふれあいレストランともおしゃれな食堂そのまま使えそう

くすの木は絶対残したい

小学生～高校生の居場所としての使用

クラスの看板が手作り！階段やろう下のポスターの手作り感も！

家庭科室、音楽室、理科室を子ども向けの教室として活用できないか？

ランチルームを時間帯別に使うという発想があったところがいいなと思いました。この地域の方々の「つながり」は、すごく密接につながっているわけではなく、それぞれの活躍主体が活躍できるように緩やかにつながっていて、活躍はそれぞれ、という共通認識があったと思います。それが時間帯別の利用というアイデアにつながったような気がします。この地区にとってもマッチしていると思いました。 讃岐先生



## C グループ



### 💡 キーワード

- ・誰でも自由に使える/フリースペース
- ・そのまま活用する ・バリアフリー
- ・子供が遊べる場所 ・公民館との連携

屋上も何かに利用できないだろうか

給食室とランチルームが近いので何かできそう

ボールあそびのできる広場

小さな段差が沢山あったので、平にした方が良いのでは？

体育館はかなり期待できる機能だ。楽しみ！

現在の公民館との一体的運用ができると効率的だ

ろうか、つうろ、木がみえて景色がよくて使えそう

テラスつきカフェで交流スペースにする

各教室についているプロジェクターも活用できそう

外のスペースと建物内部との接点はとても大事です。小学生はあまり段差を気にしないかもしれないけれど、地域の皆さんが使うことを考えたときに、くすの木の周りの段差が気になるというのは大事な視点だと思います。意外と見落とされがちなバリアフリーについてこの段階で意見が出たことは、具体的な計画段階で生きてくると思います。 讃岐先生





# フォトギャラリー



## 讃岐先生



東京都立大学建築学科で助教を務める。専門は都市計画。多数の自治体で公共施設再編アドバイザーや市民ワークショップの講師を担っている。

バリアフリーの視点がどのグループでも出ていましたが、その視点を含めて多様な主体同士のつながり方について考え、それを皆さんで共有されている点が光が丘地区の強みだと思います。他自治体・他地区と比べても、光が丘地区の皆さんの思いにはすごく熱いものがあると感じますし、それを今回目目の当たりにしました。その熱い思いと、光が丘地区にある「住民同士のつながり方」の認識をもって、次回以降のより具体的な議論に参加してもらいたいと節に思います。

## 次回予告

1月15日(土) 14:00 ~

会場：陽光台公民館  
大会議室

「再編コンセプトや  
跡地活用の具現化」

やりたいことなどをカタチにして、再編コンセプトを考えよう！

発行

第2号発行日：令和4年1月7日

作成：東京都立大学 学生スタッフ

発行：相模原市 市長公室 総合政策部 経営監理課

〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15

042-769-9240